



滋賀県大津市

みんなに居場所がある街をつくる sigasiga orchid house（胡蝶蘭の栽培）

あや は かぶしきがいしゃ
綾羽株式会社

WEB サイト：<https://sigasiga.jp/>

参入法人の概要

法人形態：自社保有の雑種地にハウスを設置
代表者名：取締役社長 河本 英典
所在地：滋賀県大津市におの浜1丁目1番3号
設立年次：昭和21年10月
資本金：10億円
親会社：綾羽株式会社

営農形態：施設栽培
主要作物：胡蝶蘭
経営面積：6.5a（うち所有 6.5a、借入 -a）
主な販売先：非公開
売上額：非公開
従業員：常時雇用7名
（ほかに本社職員2名が常駐、2名が販売担当）

●農業に参入した目的を教えてください

綾羽株式会社は繊維工業、不動産賃貸業等を営む会社です。既に会社としては特例子会社を設立し清掃業務を行うことにより障害者雇用率は達成していました。

しかし、業務と障害をもつ雇用者の特性がマッチしているとはいいい難い面もあり、雇用者の働き甲斐を求めて、本社直轄の当部署を立ち上げ、業務の分担の容易さや職場環境、事業としての可能性などを総合的に判断し、農業（胡蝶蘭）に参入することにしました。

●当該土地を選んだ理由を教えてください

胡蝶蘭を栽培するハウスは東近江市小田苅に所在し、系列会社のアヤハディオ湖東店（ホームセンター）に隣接しています。同敷地内にはグループ内で販売する植物を各店舗に発送する拠点があり、胡蝶蘭の栽培と販売に好条件であることから選定しました。

●当該作物を選んだ理由を教えてください

前述にもありますとおり、障害者が活躍できる職域を拡大し、障害を持つスタッフをより多く雇用できるよう、個々の能力に合った仕事内容、働き甲斐の向上、職員の管理、職場環境の改善などの観点という面と、胡蝶蘭という美しい商品を通して企業姿勢を世の中に伝えていきたいという想いから選定しました。

●参入にあたって栽培技術面等の課題にどのように対応されましたか

当社には胡蝶蘭の栽培技術のノウハウやマニュアルはありませんでしたが、既に障害者雇用で胡蝶蘭の栽培に取り組んでいた千葉県NPO法人の栽培技術の研修を受講するとともに、ハウス等の施設の計画においても協力・指導等をしていただきました。



生産された胡蝶蘭

●販売先、販路についてはどのように確保されましたか

広くは EC サイトでの販売を行い、グループ会社のお取引先様を中心に法人向け営業を通じた直販をメインの販路としています。

●農業参入してみて気づいた（参入するまで気づかなかった）のはどのようなことですか

ハウス施設内へ思ってもみない所からモグラやバッタなどが侵入し、食害などがありました。

胡蝶蘭は本来、亜熱帯の植物ですので、ある程度一定の温度（20℃前後）・湿度の環境で育てる必要がありますが、一年目は温度管理に慣れていなかったため、夏場にはハウス内の温度が 40℃になるなどの苦労がありました。また、出荷に際しても温度管理に注意を払い、冬場はカイロを同梱することもあります。

●地域の方や農業委員会、JA、自治体との関係について気を付けていることがあれば教えてください

地域の胡蝶蘭の生産農家との栽培面での情報交換等の関係はありますが、事業運営に限って言えば JA や自治体との関係は当社に関してはあまりありません。

●今後の経営方針について教えてください

まずは胡蝶蘭の事業をフル生産に持っていくこと。当社の取組をご理解いただいているお客様との関係をしっかり築いて事業を持続的に安定させることを考えています。その後は、ハウス以外の社内の様々な部署でも障害者と健常者が一緒に働けるような環境になることが理想です。

●今後、農業参入しようと考えている企業へのメッセージをお願いします

農業と福祉（障害者雇用）は親和性が高く、特に花の栽培に関しては、職場環境が花に囲まれており心穏やかに日々過ごすことができます。

当社のように、農業参入と農福連携に合わせて取り組むことも一つの方法ではないでしょうか。



ハウス内で生産された胡蝶蘭



ハウス内での作業の様子